

第3回多職種連携研修会 参加者アンケート集計結果

○参加者:100名

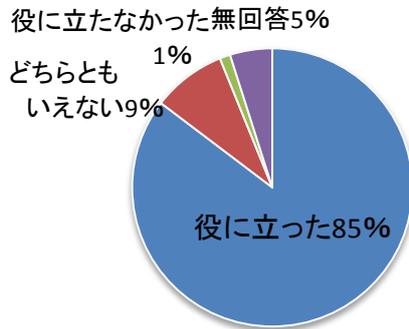
○アンケート回収率:82% (回答者:82名)

内訳: 医師	5名	ソーシャルワーカー	5名
歯科医師	2名	相談員	3名
薬剤師	7名	介護福祉士	3名
看護師	17名	ケアマネジャー	29名
保健師	2名	その他(事務局)	1名
理学療法士	8名		

1. 研修についてのご感想をお聞かせください。内容はいかがでしたか？

【 役に立った:70名 ・ どちらともいえない:7名 ・ 役に立たなかった:1名 ・ 無回答:4名 】

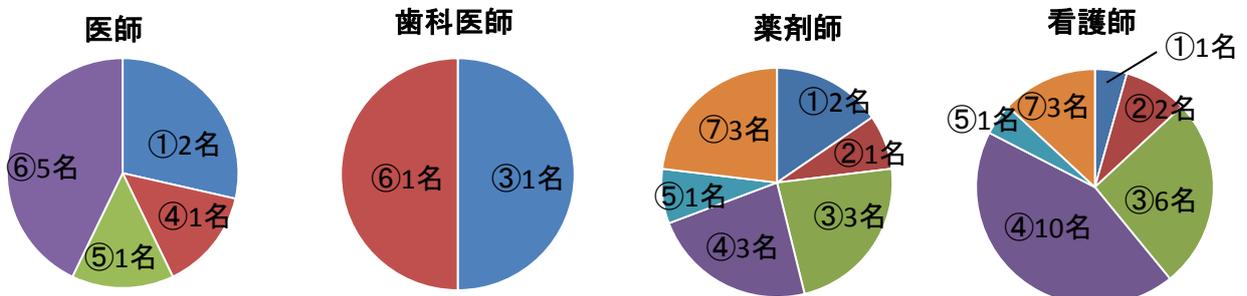
1. 研修について

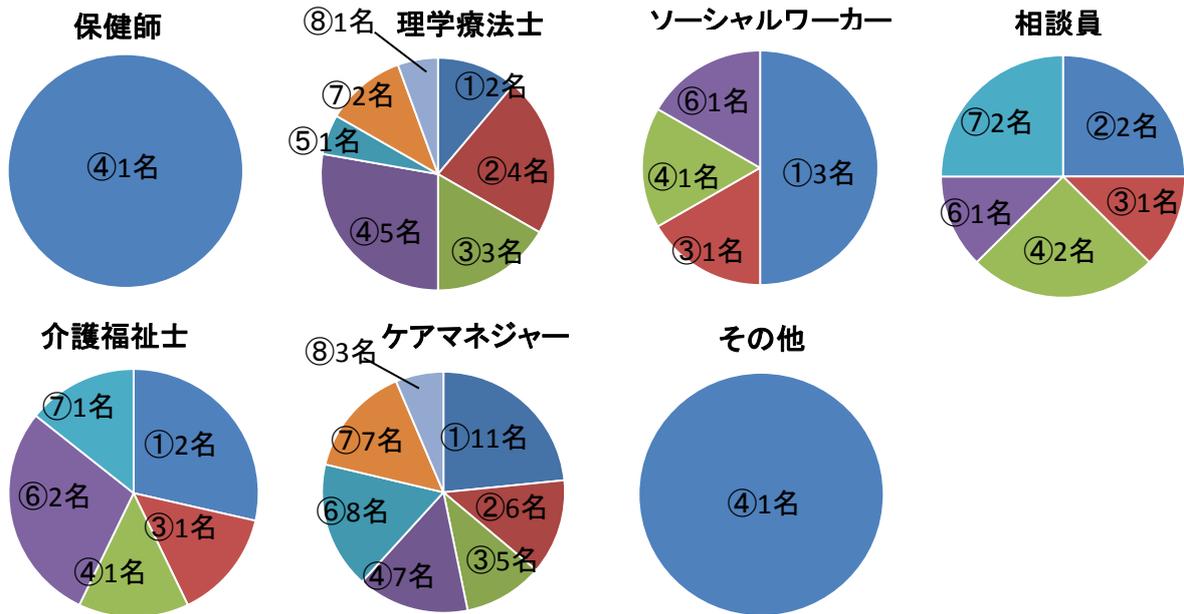


2. 日々在宅医療・介護連携を進める上で課題と感じていることは何ですか。(複数回答可)

① 時間が足りない	23
② 医師にもっと相談したい	15
③ 他職種と接する機会が少ない	21
④ 情報の共有が難しい	32
⑤ 担当者会議の進め方	4
⑥ 利用者第一に考える支援	16
⑦ 上手く連携(互いを活用)が出来ない	18
⑧ その他: ・医師によっては介護保険に疎い人がいる ・書類多すぎる。同じような書類が多い。地域包括の対応の悪さ(利用者や家族)。こちらにクレームがくる。 ・共通言語を使う ・どこにどの様なサービス事業所があり、特色があるのか。	4

◆職種別上記回答者数





3. 当センターが開催したこれまでの研修についてお尋ねします。

①心に残っている研修は何ですか？

- ・今回の研修 —11名
- 連携、これからのことなど分かりやすかったです。
- 松田先生の話が若松区の特徴をよく分析されていて今後とても参考になります。
- 今日の研修は大変参考になりました。
- 今回 良かったです。
- ・毎回の多職種連携研修、楽しみにしております
- ・グループワーク研修が毎回勉強になってます。
- ・他職種との意見交換
- ・全てです。一つ一つが心に残ります。
- ・今日の研修
- ・園山調剤の寺本先生の講演
- ・職種別の事例検討会
- ・若松区医師会連携支援センターの活動報告です。顔の見える関係づくりの一步となりました。
- ・多職種連携について
- ・リハビリとの連携
- ・対人援助スキルABC
- ・事例検討会
- ・第1回のお他職種連携の各種でのディスカッション
- ・グループワーク
- ・違う職種の方々と話せたことが心に残っています。

②研修参加後に何か変化はありましたか？良ければ理由をお聞かせ下さい。

- ◆活かされている:22名
- ＜医師＞
- ・顔の見える関係づくりができ、連携に役立っている。
- ＜薬剤師＞
- ・日々の仕事に役立つ。自分の考え方、行動に役立っている。
- ・皆と集まることが、価値あり。
- ・他職種の方と接する貴重な場であり、知っている顔が増えていっている。今後ますます連携をとれればと思います。
- ・いろいろな職種がいたら、いろいろな事で利用者に有益になるので。
- ＜ソーシャルワーカー＞
- ・広い視野が持てる。

＜理学療法士＞

- ・他職種が参加しているので、色々な意見を知ることができる。

＜看護師＞

- ・地域として考える事が理解できた。

＜ケアマネジャー＞

- ・身体機能維持向上にあたってのリハビリとの連携の方法の参考になった。多面的な見方ができるようになった。
- ・色々な視点からの意見を知る事ができている。

◆気持ちに変化はある:26名

＜医師＞

- ・国内外の最先端の仕組みがしれて良かったです。

＜薬剤師＞

- ・地域ネットワークの可能性
- ・薬剤師として、他職種とどう連携をとるか考える機会となったから

＜ソーシャルワーカー＞

- ・多職種の方々の意見や視点って何だろう？と考えながら業務に取り組むことができている。

＜看護師＞

- ・現在の問題点がデータで可視化され、課題が明確で分かりやすかったです。
- ・今後のステーションのあり方や、地域全体としての活動の仕方など、皆で協力しながら検討しなければいけないと思った。

＜ケアマネジャー＞

- ・今回の研修もすぐに業務に活かせるというものではないが、振り返りの機会になった。「通所サービス利用有無にみた気分障害の有病率」から、地域、CMの今後について考えさせられた。
- ・講師の話やグループワークで、いろんな情報を得られるから。
- ・今回は、色々なところが取り組まれている活動を沢山知ることが出来、考えが広がりました。

＜相談員＞

- ・夢と希望を持って、お仕事したいと思えました。

＜介護福祉士＞

- ・10年後の現実が理解できました。

◆変わらない:2名

◆無回答:32名

4. 今後研修会でテーマに挙げてほしい内容(講師)や、ご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。

- ・在宅生活を継続するうえでの指標、評価を職種によってどうとらえているのか。在宅における排泄管理、ケア、改善方法。ノーリフトケアについて。2次障害の予防。
- ・困難事例の検討会(他職種)をお願いします。
- ・地域で独居暮らしをしている利用者をもた成功例を教えてください。
- ・総合病院の医師(外来)も開業医の医師に見習い、積極的にこういう研修に参加してほしい。在宅サービスをもっと知って関わってほしい。
- ・このような(本日)研修はとても参考になります。
- ・要支援の方へのサービス向上(資金をかけず、中身を充実)
- ・若松区が医療費が全国10位(北九州市では1位)なので、どうすればよいか。
- ・せっかくの講演会ですが、資料が見つらなくてメモもとりにくかったです。色々あると思いますが、今回は(カラー、2分割)が良かったです。
- ・ネットワークの築き方、気づきの方法について、利用者への説明の方法やコミュニケーションの取り方などの実践など
- ・内容の濃い研修でよかったが、少し声が聞き取り難かったのが残念。
- ・最新の介護情報、制度改正など